

東京理科大学との事業連携（案）について

区と東京理科大学とは、平成21年3月26日に締結した基本協定書第5条第1項において、相互の人的、知的、物的資源の交流を図り、双方の発展に寄与するため、健康と福祉に関する分野、街づくりと産業に関する分野、生涯学習とふれあいに関する分野で、相互に協力するものとしている。

この基本協定書に基づき、区と東京理科大学との事業連携について、実施の方向性を確認したため、その取組み項目と内容等について報告するものである。

1 東京理科大学との事業連携（案）の概要（詳細は別紙参照）

(1) 健康と福祉に関する分野

No	項目	内容	所管課
①	ボランティア活動	かつしかあんしんネットワーク事業に学生が協力するとともに、学生がボランティア活動に参加しやすい枠組み・環境づくりを検討し、福祉分野における学生のボランティア参加を促進する。	高齢者支援課 障害福祉課
②	障害者の就労機会の創出	大学内で障害者が仕事に従事できる環境の整備について検討するとともに、障害者施設の自主生産品の販売機会を大学キャンパス内に確保する。	障害福祉課
③	障害者理解の推進	大学祭等で障害者施設の展示紹介や模擬店の出店を推進するとともに、障害者にモニターとして協力をしてもらい福祉用具の研究開発を図る。	障害福祉課
④	食育サポーター事業	大学内の飲食店を食育サポート店に登録するとともに、食育月間の取組みを行う。	健康推進課

(2) 街づくりと産業に関する分野

No	項目	内容	所管課
①	地域産業活性化特別委員会の設置・運営支援	地域産業の活性化に向けて、商工会議所が主体となった大学との定期的な意見・情報交換のための協議体について設置・運営の支援を行う。	産業経済課
②	産学公連携の推進	大学と区内企業の技術交流を促進し、イベント・セミナーの開催等を行う。また、大学施設内への産学連携施設の整備を推進する。	商工振興課
③	災害時の応急対策活動に関する協力連携	新宿六丁目地区を避難場所に位置づけるとともに、災害時の協力協定を大学と締結し、大学施設を避難所として利用できる環境整備を行う。また、水害対策として盛土工事を実施する。	防災課
④	震災時の駅前滞留者・帰宅困難者対策の推進	震災時の駅前滞留者・帰宅困難者対策のための協議会の設置や大学施設の活用の検討を行う。	防災課

⑤	ボランティア活動	学生がボランティア活動に参加しやすい仕組み・環境づくりを検討し、災害時のみならず地域活動における学生のボランティア参加を促進する。	防災課
---	----------	---	-----

(3) 生涯学習とふれあいに関する分野

No	項目	内容	所管課
①	国際交流の推進	区が開催する国際交流イベントへの大学留学生の参加・協力を促す。	文化国際担当課
②	小中学校との連携	小中学校の理科の授業に大学の教授・学生をゲストティーチャーとして招き、児童・生徒の理科・科学への関心を高める。また、大学キャンパスに隣接する小中学校の小中一貫教育の充実に向けた連携を検討する。	指導室
③	(仮称) 科学技術センターの整備	大学の図書館内に併設する(仮称)科学技術センターの設計・工事や展示物設置を進めるとともに、運営体制や大学と連携した事業内容の検討を行う。	指導室
④	ボランティア活動	学生ボランティアに登録してもらい、小中学校における各種活動へのボランティア参加を促進する。	指導室 地域教育課
⑤	みんなの理科大学の実施	小中学生・高校生や保護者を対象に、科学を身近に親しむことのできる科学体験教室や講演会などを実施する。	生涯学習課
⑥	公開講座	理工系の専門講座のほか、幅広い分野において一般向け、入門編などの公開講座を「かつしか区民大学」単位認定講座として実施する。また、女子中高生向けの科学体験講座を実施するとともに、国際交流講座実施の検討を行う。	生涯学習課 人権推進課 文化国際担当課
⑦	大学図書館との連携	大学図書館を区民に開放するとともに、区立図書館との相互貸し出しや図書館員同士の連携体制を構築する。また、大学図書館による専門資料のレファレンス等ができるようにする。	中央図書館

2 今後の取組みについて

上記の各事業については、実施に向けて引き続き、大学や関係機関との協議・検討を進め、必要に応じて個別に事業協定等を締結していく。

また、上記の事業に加えて、区民サービスの向上や地域の活性化が見込まれる事業については、今後も大学との協議を重ね、様々な事業連携の取組みを図っていく。

東京理科大学との事業連携(案)について

【所管課】

1 健康と福祉

(1) ボランティア活動	・高齢者支援課 ・障害福祉課	1
(2) 障害者の就労機会の創出	・障害福祉課	1
(3) 障害者理解の推進	・障害福祉課	2
(4) 食育サポーター事業	・健康推進課	2

2 街づくりと産業

(1) 地域産業活性化特別委員会の設置・運営支援	・産業経済課	3
(2) 産学公連携の推進	・商工振興課	3
(3) 災害時の応急対策活動に関する協力連携	・防災課	4
(4) 震災時の駅前滞留者・帰宅困難者対策の推進	・防災課	4
(5) ボランティア活動	・防災課	5

3 生涯学習とふれあい

(1) 国際交流の推進	・文化国際担当課	6
(2) 小中学校との連携	・指導室	6
(3) (仮称) 科学技術センターの整備	・指導室	7
(4) ボランティア活動	・指導室 ・地域教育課	7
(5) みんなの理科大学の実施	・生涯学習課	8
(6) 公開講座	・生涯学習課 ・人権推進課 ・文化国際担当課	8
(7) 大学図書館との連携	・中央図書館	9

1 健康と福祉

(1) ボランティア活動

高齢者支援課・障害福祉課

学生ボランティアを育成するとともに、ボランティア活動に参加しやすい仕組み・環境づくりを検討し、福祉分野の事業における学生のボランティア参加を促進する。

事業名	事業内容	実施時期
①かつしかあんしんネットワーク事業への参加	「かつしかあんしんネットワーク事業」に学生が協力し、地域の一員として高齢者や障害者の見守りや、区や地域包括支援センターへの連絡を行う。また、災害時において災害時要援護者の避難に協力する。	平成25年度
②福祉分野における各種事業への学生ボランティアの活用	学生がボランティア活動に参加しやすい仕組みや環境づくりを検討し、高齢者クラブ連合会主催のスポーツイベントをはじめ、まち歩きツアー、パソコン教室等高齢者や障害者の各種事業への学生ボランティアの参加を促し、地域住民との交流を図っていく。	平成25年度以降

(2) 障害者の就労機会の創出

障害福祉課

障害者の就労を促進するため、大学内で障害者が仕事に従事できる環境の整備について検討する。また、大学内で区内障害者施設の自主生産品を販売する。

事業名	事業内容	実施時期
①障害者の就労促進	障害者が大学内の事務補助などの仕事に従事できるように大学に働きかけていく。また、大学の理解と協力のもと、大学施設の維持管理を行う事業者に対しても、障害者の雇用促進を働きかけていく。	平成25年度以降
②障害者施設の自主生産品販売	大学キャンパス内において、障害者施設の自主生産品の定期的な販売機会を確保する。	平成25年度

(3) 障害者理解の推進

障害福祉課

障害者の社会参加の機会を広げ、障害者と学生、地域住民が交流することで、障害者に対する理解を深めていく。また、障害者の協力を得て福祉用具の研究・開発を促進する。

事業名	事業内容	実施時期
①障害者施設の展示紹介	大学祭等において、障害者施設の展示紹介を行うとともに、模擬店の出店などにより、障害者の社会参加を推進する。	平成25年度
②福祉用具の研究・開発	障害者にモニターとして協力をしてもらいながら、大学と区内中小企業との連携も視野に、福祉用具の研究開発・普及促進を図る。	平成25年度

(4) 食育サポーター事業

健康推進課

大学を食育サポーターとして位置づけ、金町・新宿地域の食育推進の拠点化を図り、学生や区民に対する食育の働きかけを行い、健康づくりを推進する。

事業名	事業内容	実施時期
①食育サポート店に登録	大学内の飲食店を食育サポート店として登録し、カロリーやバランスガイドを表示するとともに、健康づくり情報をポスター等により、学生や地域住民に向けて発信していく。	平成25年度
②食育月間の取組み	毎年6月の食育月間に、大学内で食育に関するパネル展や食育に関する公開講座を開催する。	平成25年度

2 街づくりと産業

(1) 地域産業活性化特別委員会の設置・運営支援

産業経済課

地域産業の活性化を目指し、産学公で協議・意見交換を行い、具体的な取組みを検討するために、商工会議所が主体となった協議体の設置・運営を支援する。

事業名	事業内容	実施時期
①地域産業活性化特別委員会の設置・運営支援	平成25年度の東京理科大学葛飾キャンパス開設に向けて、東京商工会議所葛飾支部が開催する大学と地域との定期的な意見・情報交換の支援を行い、地域活性化方策や、地方出身学生の区内定住促進などについて検討を行う。	平成21年度

(2) 産学公連携の推進

商工振興課

東京理科大学の理工系総合大学としてのノウハウ・知識・技術を、区の特色である中小製造業の技術向上・体力強化に繋げるため、東京理科大学と区内企業の連携を促進する事業を実施する。

事業名	事業内容	実施時期
①大学と企業の技術交流	大学と区内中小企業の技術交流を推進するため、(仮称)産学連携推進協議会を設置・運営する。また、産学連携に関する個別相談会を実施する。	平成22年度 (相談会は、平成21年度)
②イベント・セミナーの開催	区内中小企業向けに産学連携の事例紹介などを行う産学連携講座を実施する。また、大学の専門家による産学連携講演会を行う。	平成22年度 (講演会は、平成21年度)
③産学連携施設の整備推進	区内中小企業のニーズを踏まえながら、大学の科学技術交流センターと調整を行い、大学施設内に地域開放型の産学連携施設の整備を推進する。	平成25年度

(3) 災害時の応急対策活動に関する協力連携

防災課

大学及び公園を含めた新宿六丁目地区一帯を避難場所として位置づけ、災害時の協力体制を構築する。

事業名	事業内容	実施時期
①避難場所及び避難所の確保	大学及び公園を含めた新宿六丁目地区一帯を、東京都の指定を受け、避難場所と位置づける。また、災害時の協力協定を締結し、大学施設を避難所として利用できるように、地域と大学で共に活用する防災倉庫を設置するなどの環境整備を行う。	平成25年度
②盛土による水害対策の実施	各洪水ハザードマップで想定する浸水深を踏まえ、大学施設の避難所機能の充実を図るため、大学用地及び公園用地に対して、盛土工事を実施する。	平成22年度 (工事竣工)

(4) 震災時の駅前滞留者・帰宅困難者対策の推進

防災課

東京理科大学による大学施設の提供や情報提供により、震災時の駅前滞留者・帰宅困難者対策を推進する。

事業名	事業内容	実施時期
①(仮称)駅前滞留者対策協議会の運営支援	震災時に電車が不通で帰宅が困難となり、金町駅周辺に滞留する者に対する、大学施設の提供をはじめとする支援について協議するため、関係機関で構成する、(仮称)駅前滞留者対策協議会を設置する。	平成25年度以降
②情報提供の仕組みの検討	駅前滞留者や帰宅困難者に対する正確な情報を提供するため、一時待機場所への案内・誘導サインや帰宅支援情報提供の仕組みの検討を行う。	平成25年度以降
③一時待機場所の確保	大学施設を、震災時の金町駅前滞留者や帰宅困難者の一時的な待機場所として利用できるように位置づける。	平成25年度

(5) ボランティア活動

防災課

学生ボランティアを育成するとともに、ボランティア活動に参加しやすい枠組み・環境づくりを検討し、災害時及び地域活動における学生のボランティア参加を促進する。

事業名	事業内容	実施時期
①災害時における学生ボランティアの活用	学生がボランティア活動に参加しやすい枠組みや環境づくりを検討し、大学と災害時の協力協定を締結する。また、災害時の避難場所・避難所におけるボランティア組織づくりや、防災リーダーの育成などを行うとともに、総合防災訓練への参加も促す。	平成25年度
②地域活動における学生ボランティアの活用	学生がボランティア活動に参加しやすい枠組みや環境づくりを検討し、地域美化活動や、防災資器材点検活動等各種活動への学生ボランティアの参加を促し、地域住民との交流を図っていく。	平成25年度以降

3 生涯学習とふれあい

(1) 国際交流の推進

文化国際担当課

学生、区内在住外国人、留学生と地域住民が多文化共生の意識を育み相互理解・交流を促進する国際交流事業を実施する。

事業名	事業内容	実施時期
①国際交流イベントへの参加	区が毎年開催している国際交流イベントへの大学留学生の参加・協力を促し、自国文化紹介イベント、模擬店運営を行う。また、大学キャンパスを会場として同様な催しの実施についても検討する。	平成25年度以降

(2) 小中学校との連携

指導室

理科や科学に対する興味・関心を高め、科学的な思考ができる児童、生徒の育成を図るため、理工系総合大学である東京理科大学の有するノウハウや技術を活かし、理科教育の充実を図る。

事業名	事業内容	実施時期
①小中学校との連携	小中学校の理科の授業に大学の教授や学生をゲストティーチャーとして招き、児童・生徒の理科・科学への関心を高める。 また、葛飾キャンパスに隣接する小中学校の「小中一貫教育」における理科教育の充実に向けて、教育委員会、小中学校、大学において検討を進めていく。	平成25年度以降

(3) (仮称) 科学技術センターの整備

指導室

小中学生の理科教育や区民の生涯学習機会の一層の充実を図り、理科に対する興味・関心を高め、理科好きで科学的な思考ができる人材を育成するため、幼児期から学齢期、成人に至るまで、科学をテーマとした実験・観察・体験を行うことができる施設として、(仮称) 科学技術センターを大学図書館内に併設して整備する。

事業名	事業内容	実施時期
① (仮称) 科学技術センターの整備	平成21年度に基本計画と基本設計を、平成22年度に実施設計を行い、その上で平成23・24年度には工事及び展示物の設置を行っていく。あわせて、(仮称) 科学技術センターの運営体制や大学と連携した事業内容の検討を進め、平成25年度の開設を目指す。	平成25年度

(4) ボランティア活動

指導室・地域教育課

学生ボランティアに登録してもらい、小中学校におけるボランティア参加を促進する。

事業名	事業内容	実施時期
① 小中学校における学生ボランティアの活用	学生ボランティアに登録してもらい、学習補助や学校地域応援団、わくわくチャレンジ広場など小中学校における各種活動へのボランティア参加を促進する。	平成25年度

(5) みんなの理科大学の実施

生涯学習課

小中学生・高校生や保護者を対象に、科学を身近に親しむことのできる科学体験教室や講演会などを実施する。

事業名	事業内容	実施時期
①みんなの理科大学の実施	小中学生・高校生や保護者を対象に、東京理科大学の有するノウハウを活かし、科学を身近に親しむことのできる科学体験教室や講演会などのイベント（みんなの理科大学）を大学と連携して実施する。 また、平成25年度のキャンパス開設以降の実施方法は、（仮称）科学技術センターとの連携を検討する。	平成21年度

(6) 公開講座

生涯学習課・人権推進課・文化国際担当課

東京理科大学の有するノウハウと実績を活かし、理工系の専門講座のほか、幅広い分野において一般向け、入門編などの各種講座を実施する。

事業名	事業内容	実施時期
①公開講座の企画実施	理工系大学としての特色を活かした講座のほか、幅広い分野にわたる一般区民向けの公開講座を、「かつしか区民大学」単位認定講座として連携実施する。	平成21年度
②女子中高生向け科学体験講座	科学技術の場への女性の参画拡大を図るために、理工系分野に興味・関心を抱き、将来の進路の選択肢のひとつとして科学を捉えてもらうため、女子中高生向けに科学を身近に感じることのできる体験型の講座を開催する。また、女子中高生及び保護者向けに大学OGなどの女性技術者の体験談講座を実施する。	平成23年度
③国際交流講座の企画実施	区内在住外国人や留学生を対象にした「国際交流講座」に関してのニーズ把握と実施方法の検討を行う。	平成25年度以降

(7) 大学図書館との連携

中央図書館

大学図書館の区民利用を実現させるとともに、大学図書館と区立図書館が連携体制を構築することによって、区民と学生による区立図書館及び大学図書館双方の利用の充実にを図る。

事業名	事業内容	実施時期
①大学図書館との連携	大学図書館を区民に開放するとともに、区立図書館との相互貸し出しや図書館員同士の連携体制を構築することによって、区民と学生による区立図書館及び大学図書館双方の利用の充実にを図る また、区民に対して、高度な理工系の専門分野に関するレファレンスや他の大学図書館の利用紹介を受けることができるようにする。	平成25年度